

# 都留市セーフコミュニティ 防犯対策委員会 活動報告



発表者 委員長 野木忠一  
所 属 青色防犯パトロール隊

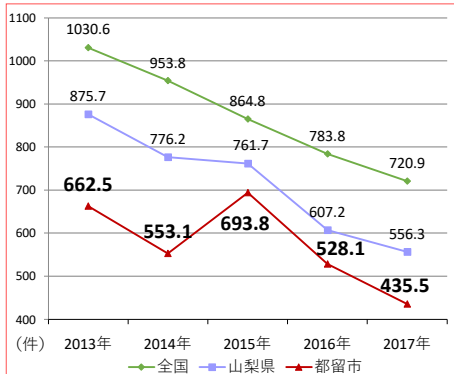
## 対策委員会設置の背景-1

- ・全国、県と比較して刑法犯認知件数の発生率は低い
- ・犯罪被害に不安を感じている市民は多い

犯罪の発生状況  
と体感治安の  
ギャップ



【図表1】人口10万人あたりの刑法犯認知件数  
(全国・県・都留市 2013~2017年)



※都留市：実数値の約3.3倍

出典：山梨県警察/2018

【図表2】都留市で生活する中で不安を感じている  
事柄(回答数767名)

不安を感じている事柄	回答数
自然災害に巻き込まれること	533
病気や障がい動けなくなること	495
交通事故によるけが	385
犯罪に巻き込まれること	307
火災に巻き込まれること	261
自宅での転倒・転落等の事故・けが	208
外出時の転倒・転落等の事故・けが	194
いじめ・虐待による精神的な苦痛	94
暴力(いじめ・虐待を含む)によるけが	71
職場での事故・けが	66
保育園・幼稚園・学校での事故・けが	64
余暇・スポーツでの事故・けが	51
その他	31

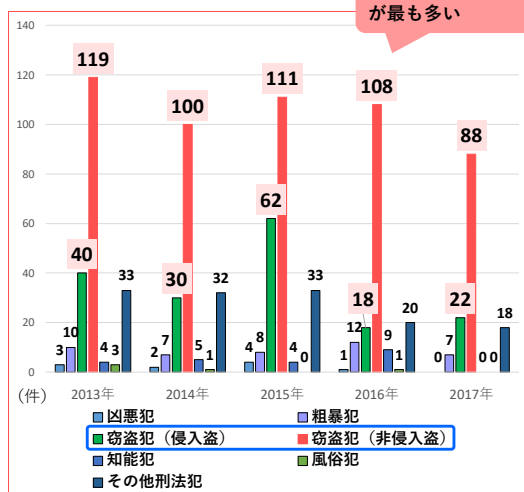
出典：安全・安心なまちづくりアンケート  
(地域環境課) /2018

## 対策委員会設置の背景-2

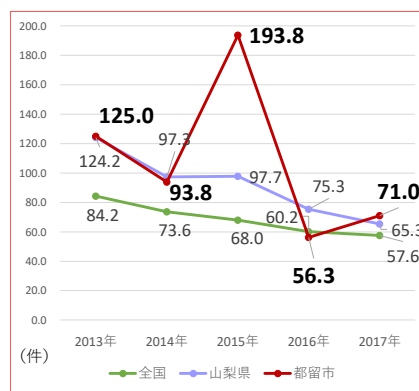


・犯罪種別では、全国・県と比較して「侵入盗」のみ発生率が高い

【図表3】犯罪種別刑法犯認知件数  
(都留市 2013～2017年)



【図表4】人口10万人あたりの侵入盗認知件数  
(全国・県・都留市 2013～2017年)



※都留市：実数値の約3.3倍

出典：山梨県警察/2018

2

## 対策委員会設置の背景-3



・犯罪被害に不安を感じている市民は多いが、防犯活動に取り組んでいる人は少ない

【図表5】安全・安心に関する活動に取り組んでいるか

(単位：人)	取り組んでいる	取り組んでいない
①自宅での転倒・転落等の事故・けが	310	362
②交通安全活動	224	350
③保育園・幼稚園・学校での安全活動	90	423
④職場での安全・安心活動	184	309
⑤余暇・スポーツでの事故・けがの防止活動	151	369
⑥防災活動	213	362
⑦子どもの安全・安心のための活動	72	455
⑧高齢者の安全・安心のための活動	81	481
⑨防犯活動	34	477
⑩自殺・暴力・虐待の予防活動	30	478

「取り組んでいる」と回答したのは7%  
地域での防犯対策が十分ではない

出典：安全・安心なまちづくりアンケート（地域環境課）/2018

3

## 対策委員会の構成



区分	団体・組織名	委員数	団体・組織名	委員数
住民組織 民間団体等 (9)	青色防犯パトロール隊	1	青少年育成都留市民会議	1
	都留市消防団	1	地域協働のまちづくり推進 会(谷村、宝)	2
	都留市青少年カウンセ ラー	1	大月警察署管内アパ ート等 防犯協力会	1
	富士急山梨ハイヤー株式 会社(公共交通事業者)	1	大学生 (都留文科大学)	1
行政機関 (10)	都留市小中学校校長会	1	都留市消費生活相談員	1
	大月警察署生活安全課	1	都留市消防本部消防課	1
	地域防犯推進員(2020.4～市配属、防犯対策の専門員)			2
	市(地域環境課、都留文科大学学生課)			4

4

## 対策委員会の経過



年月日	主な内容
2018年10月～	対策委員会会議(合同・個別)
2019年10月8日	埼玉県秩父市セーフコミュニティ再認証事前審査視察
2019年12月6日	第3回推進協議会(活動報告)
2020年3月18日	第4回推進協議会・外傷サーベイランス委員会(活動報告)
2020年11月25日～26日	セーフコミュニティ事前指導



年月日	対策委員会独自の活動
2019年8月	都留文科大学 学生への防犯アンケート
2019年9月	市内小売店への万引きに関する聞き取り調査
2019年10月	つる産業まつり シール式アンケート調査
2020年6月～9月	学生アパートを管理する不動産会社向け 防犯カメラに関するアンケート調査
2020年7月	都留文科大学周辺の環境調査
2020年11月	防犯に関する市民意識調査
2020年11月～ 2021年2月	電話詐欺撲滅体操の撮影(8団体出演)
2021年2～3月	啓発番組の放映 「健康・安全・郷育プログラム」 「電話詐欺撲滅体操と詐欺被害の防止」



5

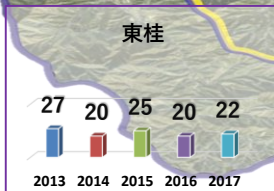
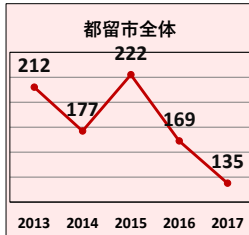
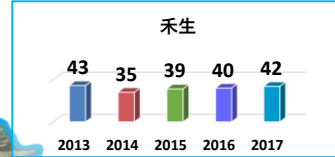
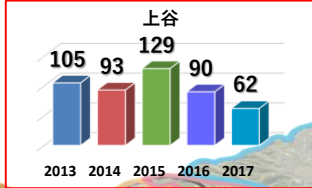
# 背景1 刑法犯認知件数



- ・ 刑法犯認知件数は減少傾向
- ・ 駐在所別では上谷交番管内が多い

★ ⇒ 大学、大学校

【図表6】  
市内駐在所別刑法犯認知件数  
(2013～2017年)



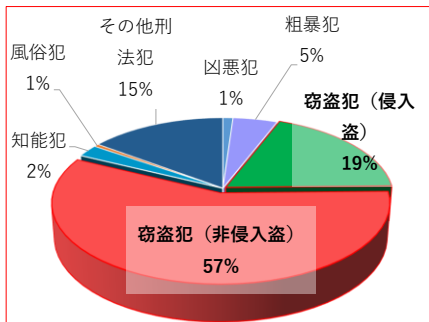
出典：山梨県警察/2018

# 背景2-1 刑法犯認知件数 (犯罪種別)



- ・ 犯罪種別では 「窃盗犯」 (侵入盗・非侵入盗) の発生率が高い
- ⇒ 殺人・傷害等の重大犯罪に比べて発生件数が非常に多い

【図表7】  
刑法犯罪種別割合(2013～2017年の平均)



窃盗犯の発生が多い  
⇒ 件数の多い軽犯罪への対策により、地域の治安悪化、重大犯罪の誘発を防ぐ

【図表8】  
犯罪種別刑法犯認知件数上位10項目と駐在所別件数  
(2013～2017年の合計)

	全体	上谷	東桂	住吉	禾生	盛里	宝
万引き	159	100	14	0	44	0	1
非侵入盗・その他	104	53	6	9	25	7	4
自転車盗	103	72	10	8	13	0	0
空き巣	72	28	12	11	16	1	4
忍込み	42	27	8	4	0	1	2
車上狙い	32	10	8	2	9	1	2
置引き	30	13	2	2	13	0	0
部品狙い	26	13	4	4	5	0	0
自動車盗	21	5	1	5	5	3	2
侵入盗・その他	19	5	3	3	5	2	1

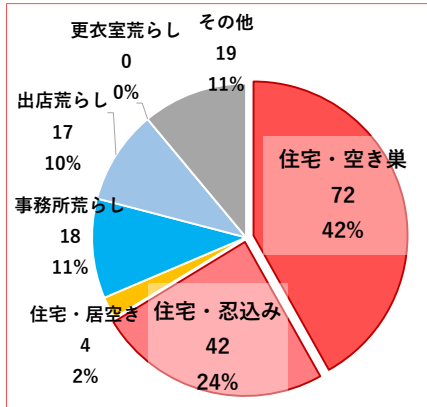
出典：山梨県警察/2018

## 背景2-2 刑法犯認知件数(犯罪種別)

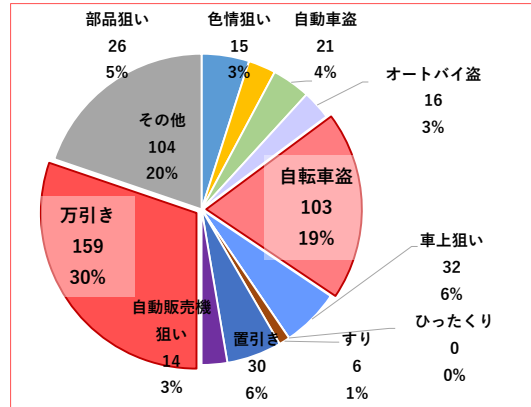


- ・「侵入盗」では「空き巣・忍び込み」が多い
- ・非侵入盗では「万引き」「自転車盗」が多い

【図表9】  
侵入窃盗罪種別割合(2013～2017年の合計)



【図表10】  
非侵入窃盗罪種別割合(2013～2017年の合計)



出典：山梨県警察/2018

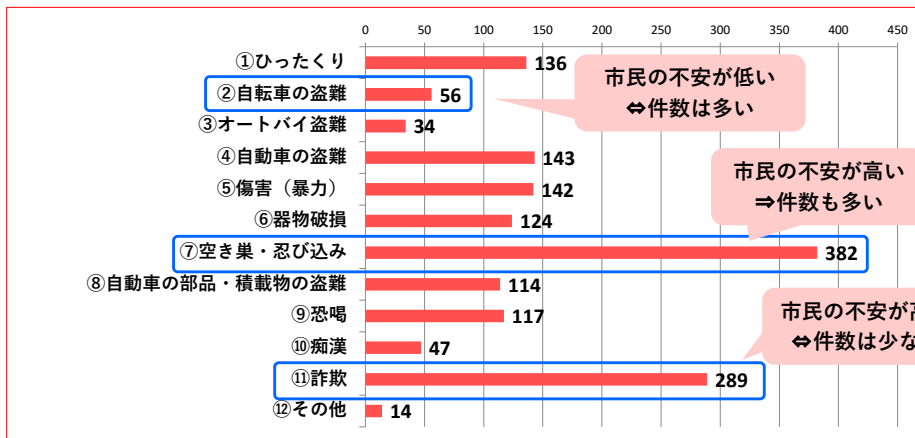
8

## 背景3 市民が感じる犯罪への不安(体感治安)



犯罪の発生状況と市民の犯罪に対する認識にギャップがある

【図表11】  
犯罪被害に対する不安を感じている事柄



出典：安全・安心なまちづくりアンケート(地域環境課)/2018

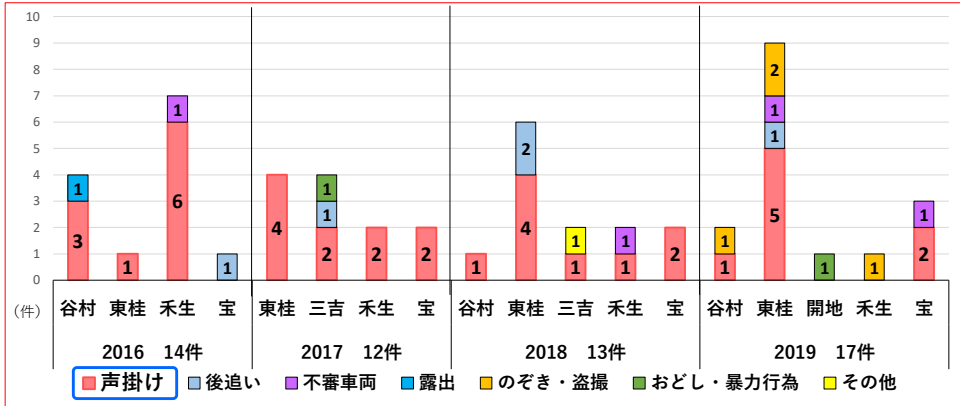
9

## 背景4 市民が感じる犯罪への不安(不審者)



- ・不審者情報が東桂地域で多い
- ・不審者対策を行っているが不審者情報は減っていない

【図表12】  
教育委員会 不審者等情報通報状況(2016年4月～2020年3月)



出典：都留市教育委員会 学校教育課/2020

## 背景5 市民が感じる犯罪への不安(詐欺)



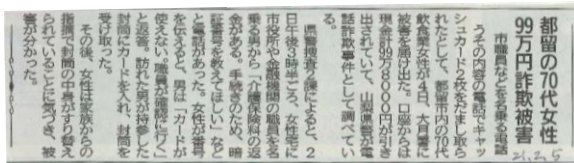
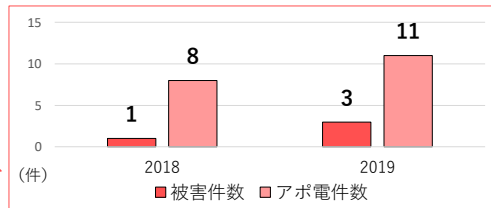
- ・詐欺に関する市民からの相談が増えている
- ⇒実際の発生件数よりもリスクが高い

【図表13】  
消費生活相談窓口への詐欺等に関する相談件数 (2015～2019年度)

2015	2016	2017	2018	2019
30	44	101	104	95

潜在的には  
何倍ものリスク

【図表14】  
詐欺被害・アポ電認知件数 (2018～2019年)



2021.2.5山梨日日新聞  
都留市内で詐欺被害が発生

最近の傾向として  
県内でも「電話詐欺」が  
多発している

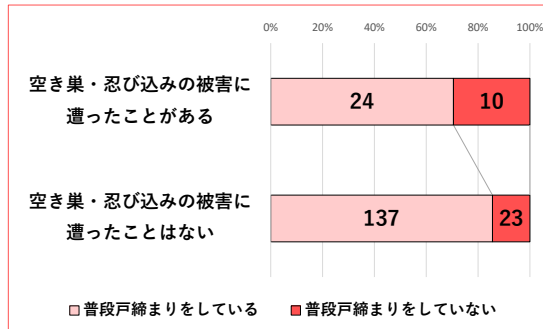
出典：図表12 消費生活相談窓口データ/2020  
図表13 山梨県警察/2020

## 背景6-1 対策委員会の独自調査(空き巣・忍び込み)

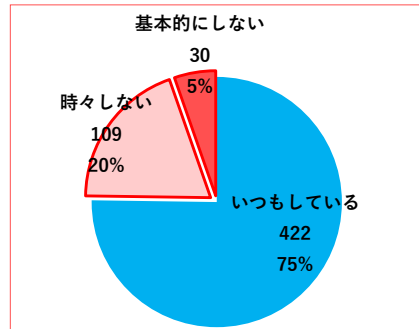


- ・「普段から戸締まりをしている」家庭よりも、「普段から戸締まりをしていない」家庭のほうが、空き巣・忍び込み被害にあうリスクが高い
- ・学生の4人に1人が普段から戸締まりをしていない状況である  
(大学生へのアンケート調査)

【図表15】  
空き巣・忍び込み被害の有無と普段の戸締まりの状況



【図表16】  
学生の普段の戸締まりの状況



出典：図表15 防犯対策委員会アンケート調査(つる産業まつりにて実施)/2019  
図表16 都留文科大学学生自治会実施 防犯に関するアンケート/2019

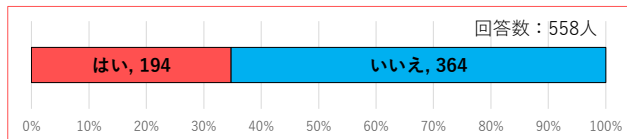
12

## 背景6-2 対策委員会の独自調査(不審者)

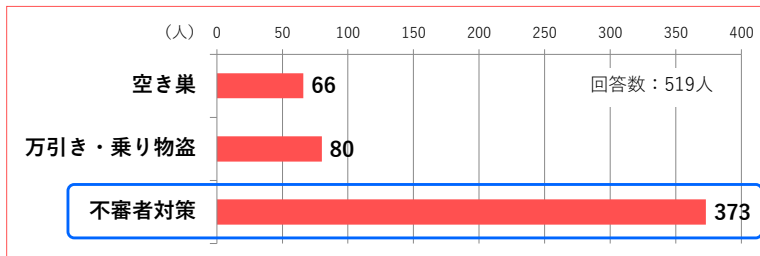


- ・不審者に声をかけられたことがある学生が多い(都留文科大学周辺)
- ・不審者対策を望んでいる学生が多い

【図表17】  
あなたはこれまでに見知らぬ人に声をかけられたことがありますか



【図表18】  
学生の立場から、対策が重要だと考える課題は何ですか



出典：都留文科大学学生自治会実施 防犯に関するアンケート/2019

13

## 背景6-3 対策委員会の独自調査(詐欺)



- ・詐欺被害に繋がる不審な電話や通知等が多い
- ⇒特に60代以上は「怪しい電話がかかってきた」の回答が多い
- 50代以下は「架空請求等のメールが届いた」の回答が多い

【図表19】

これまでに、詐欺被害に繋がるような電話や通知等を受け取ったことがありますか

(人)	全体	怪しい電話がかかってきた		架空請求等のはがきが届いた		架空請求等のメールが届いた		訪問販売等で怪しい人が家に来たことがある		怪しい電話やはがき等は受け取ったことがない	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
20~30代	51	15	29.4	11	21.6	33	64.7	7	13.7	12	23.5
40~50代	39	22	56.4	17	43.6	27	69.2	8	20.5	9	23.1
60代~	104	72	69.2	46	44.2	31	29.8	28	26.9	23	22.1



「受け取ったことがない」と答えた人は各年代で約20%程度  
多くの人が詐欺被害に繋がりがかねない経験をしている

出典：防犯対策委員会アンケート調査(つる産業まつりにて実施)/2019

14

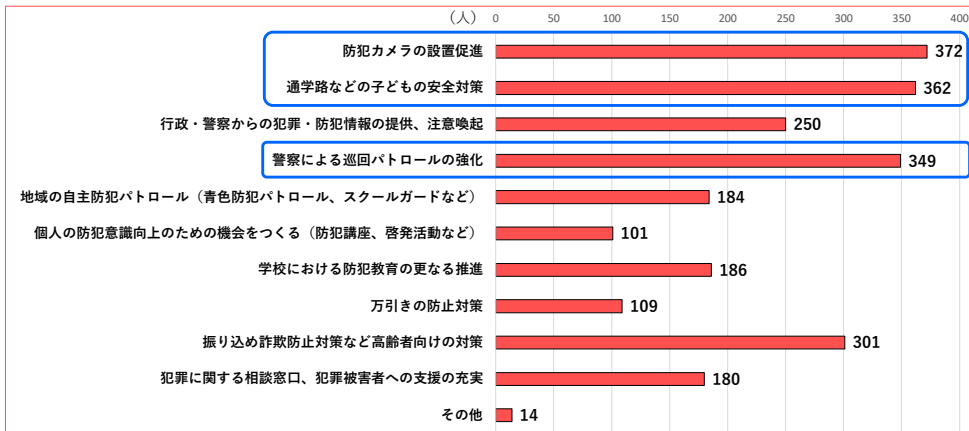
## 背景6-4 対策委員会の独自調査(防犯対策への意識)



- ・空き巣・忍び込み対策、不審者対策に関する防犯対策を必要だと考える人が多い

【図表20】

防犯対策で特に必要なものは何だと思いますか



出典：防犯に関する市民意識調査 (対策委員会実施) /2020

15



## 重点課題の整理

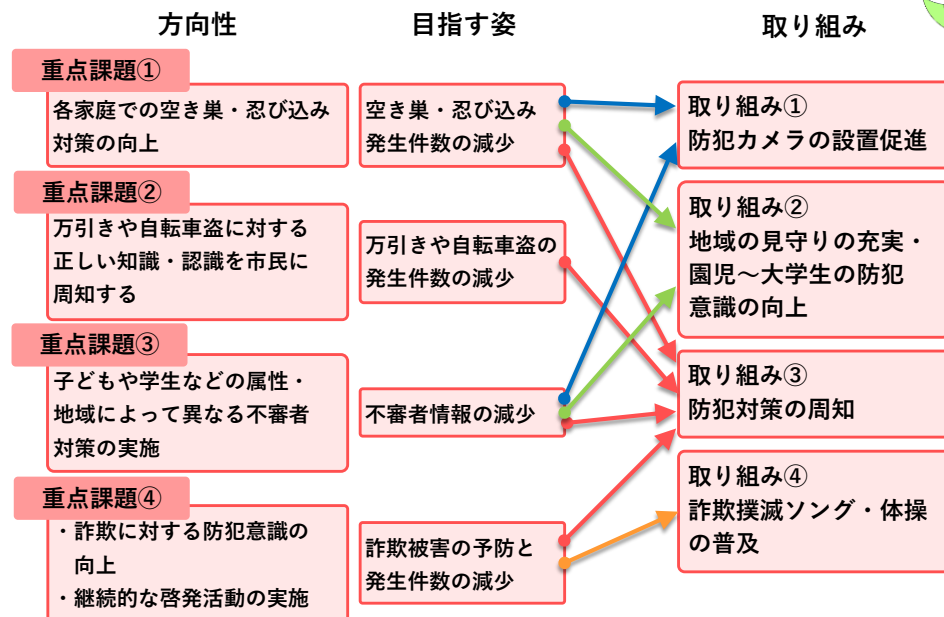


- ★犯罪の現状と防犯対策について正しい知識・認識を周知
- ★防犯対策が家庭や地域レベルに広がっていく取り組みが必要

問題点	重点課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵入盗の発生率が高い。(図表4)</li> <li>・侵入盗のうち、空き巣・忍び込みが多い。(図表9)</li> <li>・空き巣・忍び込み被害に不安を感じる市民が多い。(図表11、20)</li> </ul>	①空き巣・忍び込みに 対する市民意識の向上 と対策の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・刑法犯認知件数のうち、非侵入盗の割合が高く、特に万引き・自転車盗が多い。(図表7、10)</li> <li>・件数が多いが、非侵入盗に対する市民の不安感が低く、市民の認識が薄い。(図表11、20)</li> </ul>	②万引きや自転車盗に 対する認識を高める 地域ぐるみの対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報が田原地区、東桂地区で多い。(図表12、17)</li> <li>・不審者対策を望む学生が多い。(図表18)</li> <li>・対策を行っているが、不審者情報は減っていない。(図表11)</li> </ul>	③地域や年齢層に応じた 不審者対策の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・詐欺に関する相談が増えている。(図表13)</li> <li>・詐欺被害に繋がる不審な電話や通知等が多い。(図表19)</li> <li>・詐欺被害に不安を感じている市民が多い。(図表11、20)</li> </ul>	④詐欺に遭わないための 継続的な防犯意識向上 と啓発活動の徹底

16

## 重点課題に対する取り組み



17

# 既存の取り組みの整理



	国・県・警察	市	地域
重点課題①	【警察・消防団】防犯診断		
空き巣・忍び込み	刑法による取り締まり	防犯灯/防犯カメラ設置補助金	支援・拡充
重点課題③	パトロール	青色防犯パトロール	子ども110番の家
不審者対策	防犯グッズの配布、ポスター等の啓発	大学新入生向け防犯グッズの配布	スクールガード
	街頭活動、講話		新規
	ふじ君安心メールでの情報提供	学生見守りの家	
		健康・安全・郷育プログラム	
	教育委員会・小中学校との情報共有		支援・拡充
	防災無線の活用		
	地域の見守り体制の推進、協力関係の構築		

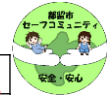
環境整備

規則・罰則

教育・啓発

18

# 取り組み① 【教育・啓発】防犯カメラの設置促進



対象の重点課題	①空き巣・忍び込み ③不審者対策		支援・新規
取り組み内容	(1)既存の補助金制度を活用した設置促進 (2)家庭用防犯カメラの設置促進 (3)学生アパートへの防犯カメラ設置促進		
実施計画	実施主体	対策委員会、市	
	対象	(1)自治会等の地域団体 (2)一般家庭 (3)アパートの大家・不動産会社	
	実施場所	市内全域(重点地域 都留文科大学周辺)	
	実施時期	通年	
委員会の関わり方	・市の補助金制度周知への支援 ・市・警察と連携して防犯カメラの有効性を周知		
成果指標	意識・知識(短期)	防犯カメラの有効性・必要性の周知(体感治安) 〔測定方法〕アンケート、啓発活動回数	
	態度・行動(中期)	防犯カメラの設置状況 〔測定方法〕市統計、対策委員会調査	
	状況(長期)	侵入盗発生件数、不審者情報の通報件数、体感治安 〔測定方法〕警察統計、教育委員会不審者情報、市民意識調査	

19

## 取り組み① 成果指標の実績値



年	2018(SC開始時)	2020
意識・知識 (短期)	—	防犯対策で特に必要だと思うもの 「防犯カメラの設置促進」73.4% (2020年 防犯に関する市民意識調査 回答者 507人中372人)
態度・行動 (中期)	補助金制度利用 2台	補助金制度利用 2台 (±0) 一般家庭の防犯カメラ設置率 4.9% (2020年 防犯に関する市民意識調査 回答者 507人中24人が「設置している」と回答) 学生アパートの防犯カメラ設置率 22.9% (2020年 学生アパートの管理不動産会社への アンケート 11社回答)
状況 (長期)	侵入盗 22件 空き巣・忍び込み 13件 (2017年警察統計) 不審者情報 13件(2018年度) 犯罪被害にあうことに対する 不安 「ある」64.9% (2018年 安全・安心なまちづくり アンケート回答数720人中467人)	空き巣・忍び込み 7件 (2019年警察統計) 不審者情報 19件 (2020年4月～2021年2月)

20

## 取り組み① これまでの取り組みと今後の展望



これまでの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学周辺環境調査 ⇒学生アパートへの防犯カメラの設置状況の目視確認</li> <li>・防犯カメラに関するアンケート調査 ⇒学生アパートを管理する不動産会社を対象とした アンケート調査を2020年6月～9月に実施</li> <li>・防犯に関する市民意識調査 ⇒市内在住18歳以上 無作為抽出1,000人を対象に実施 防犯カメラに関する質問を設定</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーの問題などから設置にハードルを感じる 人も多いため、身近に感じてもらうように啓発する。 ⇒分かりやすい啓発番組作成・先進的事例の紹介</li> <li>・魅力的な情報発信をするため、防犯カメラを設置して いる先進的な自治体・事例等を情報収集する。</li> <li>・モデル地区の設定、地域で防犯カメラを設置するた めのスキームづくり。</li> <li>・学生アパートへの設置促進は、アパート等防犯協会 を通じて周知していく。</li> </ul>



21

## 取り組み②

【環境整備】 地域の見守りの充実  
【教育・啓発】 園児～大学生の防犯意識の向上



対象の重点課題	①空き巣・忍び込み ③不審者対策		支援・新規
取り組み内容	(1)「学生見守りの家」による見守り活動 (2)「健康・安全・郷育プログラム」の拡充		
実施計画	実施主体	対策委員会、市、地域住民、リズムオブラブ	
	対象	(1)地域住民、学生アパートの大家、事業者 (2)幼稚園児、保育園児、小学生	
	実施場所	(1)都留文科大学周辺地域 (2)幼稚園、保育園、小学校等	
	実施時期	通年	
委員会の関わり方	・「学生見守りの家」制度の創設・運営、見守り活動の支援 ・健康・安全・郷育プログラムの啓発活動支援		
成果指標	意識・知識 (短期)	(1)学生の体感治安の向上 (2)プログラム実施回数 〔測定方法〕(1)アンケート・啓発活動回数 (2)リズムオブラブ・対策委員会集計	
	態度・行動 (中期)	(1)「見守りの家」登録数 (2)防犯対策に取り組む子どもたちの割合 〔測定方法〕(1)対策委員会統計 (2)学校への聞き取り調査	
	状況 (長期)	侵入盗発生件数、不審者情報の通報件数、体感治安 〔測定方法〕警察統計、教育委員会不審者情報、市民意識調査	

22



2020.9.30 禾生第二小学校1、2年生  
健康・安全・郷育プログラム 実施の様子



23

## 取り組み② 成果指標の実績値



年	2018(SC開始時)	2020
意識・知識 (短期)	(1) - (2)市内小学校 2校 (1学年ずつ)	(1)今後アンケート調査を実施 (2)市内小学校 3校
態度・行動 (中期)	-	(1)今後制度の創設・周知 (2)今後追跡調査を実施予定
状況 (長期)	侵入盗 22件 空き巣・忍び込み 13件 (2017年警察統計) 不審者情報 13件 (2018年度) 犯罪被害にあうことに対する不安 「ある」64.9% (2018年 安全・安心なまちづくりアン ケート回答数720人中467人)	空き巣・忍び込み 7件 (2019年警察統計) 不審者情報 19件 (2020年4月～2021年2月)

24

## 取り組み② これまでの取り組みと今後の展望



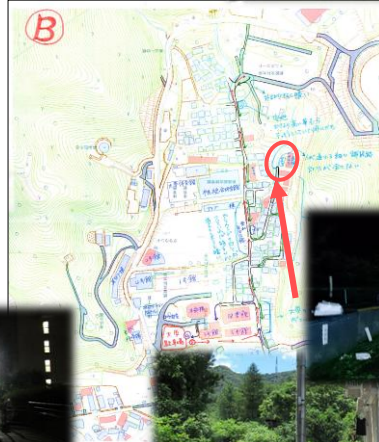
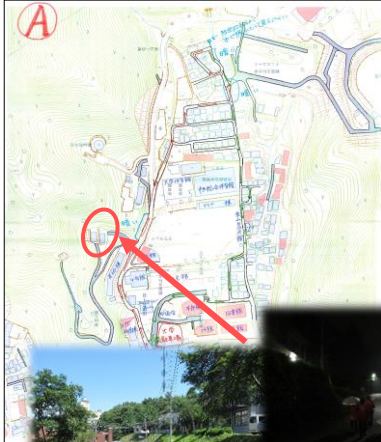
これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と地域住民の相互見守りに関する啓発チラシを作成・配布 (予定)</li> <li>・「学生見守りの家」の取り組みと心の健康対策委員会「ゲートキーパー育成」「若者応援隊」の連携について委員会同士で協議</li> <li>⇒「学生に対する見守り・支援」としての視点から連携</li> <li>・健康・安全・郷育プログラム 市内小学校3校で実施</li> <li>・啓発番組の作成 (2021年2月～3月放送)</li> </ul>
今後の展望	<p>(1)学生見守りの家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康対策委員会とのコラボを進めていく。</li> <li>・「役職・役割」のイメージが強くなると、地域住民にも受け入れてもらいにくくなるので、地域全体で「声掛け・あいさつ運動」を通じた学生と地域の高齢者の相互見守りから始める。</li> <li>・「子ども110番の家」の対象を大学生にも広げる。</li> <li>・活動をしている人が分かる「目印」になるものをつくる。</li> </ul> <p>(2)健康・安全・郷育プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や幼稚園・保育園にも広げる。</li> <li>・子どもへの定着度を測定する追跡調査の実施を検討。</li> </ul>



25

# ★対策委員会で現地調査を実施

## 都留文科大学周辺地域の環境調査



# 既存の取り組みの整理



	国・県・警察	市	地域
重点課題② 万引きや自転車盗	刑法による取り締まり		
	パトロール		支援・新規
	防犯グッズの配布、ポスター等の啓発	連携	防犯対策の周知 ※全ての重点課題と関連
	小学校～高校での防犯講話		
	放置自転車の確認・撤去		警備会社による店舗内の巡回
	駅等における少年補導活動		店員の売り場確認
	【警察・商業施設】万引き対策の協力関係の構築		

環境整備   規則・罰則   教育・啓発

### 取り組み③ 【教育・啓発】 広報媒体を活用した啓発活動



対象の重点課題	①～④全て（特に②）		支援・新規
取り組み内容	(1) イベント等への出展、市の出前講座を活用した啓発活動 (2) 広報やWeb媒体を活用した啓発活動		
実施計画	実施主体	対策委員会、警察、市、地域	
	対象	市民(重点対象 学生)	
	実施場所	市内全域、イベント会場等	
	実施時期	イベントや行事等、通年の啓発活動	
委員会の関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市やリズムオブラブ、警察等が実施する啓発活動の支援</li> <li>・対策委員会独自の啓発活動の実施</li> <li>・啓発番組、チラシ等の作成、配布</li> </ul>		
成果指標	意識・知識 (短期)	防犯対策に関する知識の周知 〔測定方法〕 チラシ・冊子等の配布枚数、啓発活動の実施回数	
	態度・行動 (中期)	防犯対策を行っている人の割合 〔測定方法〕 アンケート(イベント、大学等)	
	状況 (長期)	刑法犯認知件数、体感治安 〔測定方法〕 警察統計、市民意識調査	

28

### 取り組み③ 成果指標の実績値



年	2018(SC開始時)	2020
意識・知識 (短期)	<b>【市】</b> 消費生活に関する出張講座 5か所/145人 (2017年度)	健康・安全・郷育プログラム実施回数 小学校3校(取り組み2) <b>【市】</b> ・「詐欺防止機能付電話機器購入補助金」 の周知 啓発チラシ約300枚配布 ・消費生活に関する出張講座 1か所/15人
態度・行動 (中期)	犯罪に備えた対策をしているか 一番多かった回答：外出時・就寝時に戸締りを確認 76.5% (回答数767人中587人) 一番少なかった回答：地域パトロール活動への参加 1.2% (回答数767人中9人) (2018年 安全・安心なまちづくりアンケート)	家庭で行っている防犯対策 一番多かった回答：戸締りや鍵かけを徹底する 87.4% (回答数507人中443人) 一番少なかった回答：防犯ブザーなど防犯機器を持ち歩く 1.4% (回答数507人中7人) (2020年 防犯に関する市民意識調査)
状況 (長期)	2017年刑法犯認知件数 135件 (山梨県警察統計) 犯罪被害にあうことに対する不安 「ある」 64.9% (2018年 安全・安心なまちづくりアンケート回答数720人中467人)	2020年刑法犯認知件数 108件 (山梨県警察統計)

29

### 取り組み③ これまでの取り組みと今後の展望



これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年産業まつりで周知活動を兼ねたアンケート調査を実施</li> <li>・健康・安全・郷育プログラムの啓発番組作成 CATVで放映 (取り組み2)</li> <li>・電話詐欺撲滅体操の啓発番組作成 CATVで放映 (取り組み4)</li> <li>・市の「詐欺防止機能付き電話機器購入等補助金」の周知活動への協力 (取り組み4)</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTubeへの限定公開動画の投稿。 ⇒学生だけがみれる方法で学生向けの防犯対策に関する動画を提供する。</li> <li>・地域安全ステーション（都留市における防犯対策の推進拠点 2021.3完成）での情報公開・提供。</li> <li>・市HPの情報を充実させる。</li> <li>・市の既存のSNSへの情報掲載ができるか検討。</li> </ul>



### 既存の取り組みの整理



	国・県・警察	市	地域
重点課題④ 詐欺	刑法による取り締まり	消費生活相談	防犯講演会
	パトロール	出前講座、イベントでの啓発活動	
	防犯グッズの配布、ポスター等の啓発	防災無線の活用	
	高齢者宅の訪問防犯指導	詐欺防止機能付き電話機器購入補助金 (2020年～実施)	【警察・市】高齢者の見守りに関する協定締結予定
	電話相談への対応		
	相談等に関する情報共有・協力体制整備		
		【警察・金融機関】詐欺防止サポート隊、引落し上限の設定	
	詐欺撲滅ソング・体操の普及		新規

環境整備

規則・罰則

教育・啓発



## 取り組み④ 【教育・啓発】詐欺撲滅ソング・体操の普及



対象の重点課題	④詐欺		新規
取り組み内容	リズムオブラブ作成「電話詐欺撲滅体操」の普及 ⇒健康体操をきっかけに詐欺被害防止について関心を持ってもらう		
実施計画	実施主体	対策委員会、リズムオブラブ	
	対象	市民(重点対象 高齢者)	
	実施場所	市内全域	
	実施時期	CATVでの放映、イベント等での啓発活動	
委員会の関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話詐欺撲滅体操の普及活動（リズムオブラブと連携）</li> <li>・詐欺被害防止に関する啓発活動（消費生活相談窓口・警察と連携）</li> </ul>		
成果指標	意識・知識 (短期)	詐欺撲滅ソング・体操の啓発回数、実施回数 〔測定方法〕	
	態度・行動 (中期)	ビデオの放映場所・回数 啓発活動の実施回数 イベント等での実施回数	
	状況 (長期)	刑法犯認知件数、体感治安 〔測定方法〕警察統計、市民意識調査	

32

## 取り組み④ 成果指標の実績値



年	2018(SC開始時)	2020
意識・知識 (短期)		【市】 ・「詐欺防止機能付電話機器購入等補助金」の周知 啓発チラシ約300枚配布 ・消費生活に関する出張講座 1か所/15人
態度・行動 (中期)	【市】 消費生活に関する出張講座 5か所/145人 (2017年度)	啓発番組 CATVで2021年3月放映 ⇒市役所・金融機関窓口のモニター等で継続的に放映予定
状況 (長期)	詐欺被害件数 1件 アポ電件数 8件 (2018年警察統計) 犯罪被害に対する不安を感じている事柄「詐欺」 不安を感じる人 37.7% (2018年 安全・安心なまちづくりアンケート 回答数767人中289人)	詐欺被害件数 3件／アポ電件数 11件 (2019年警察統計) 防犯対策で特に必要だと思うもの 「振り込め詐欺防止対策など高齢者向けの対策」 59.4% (2020年 防犯に関する市民意識調査 回答数507人中301人)

33

## 取り組み④ これまでの取り組みと今後の展望



これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話詐欺撲滅体操 都留市版ビデオ・電話詐欺被害の防止に関する啓発番組作成・放映（8団体出演）</li> <li>⇒2021年3月 CATV放映</li> <li>⇒市役所内や金融機関窓口のモニターでの放映等を予定</li> <li>・市の「詐欺防止機能付き電話機器購入等補助金」の周知活動への協力（チラシ作成）</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CATVでの番組放映は期間が決まっているため、継続的に放映できないか協力依頼をする。</li> <li>・番組を観た人からのフィードバックが得られる仕組みを検討する。</li> <li>⇒番組の最後に「ぜひ感想をHPで投稿してください」等のコマーシャルを入れる。</li> <li>・体操を導入として、詐欺被害の防止対策に関する説明を聞いてもらえるような仕組みを引き続きつくる。</li> <li>⇒啓発番組の作成以外の方法も検討していく。</li> </ul>



34

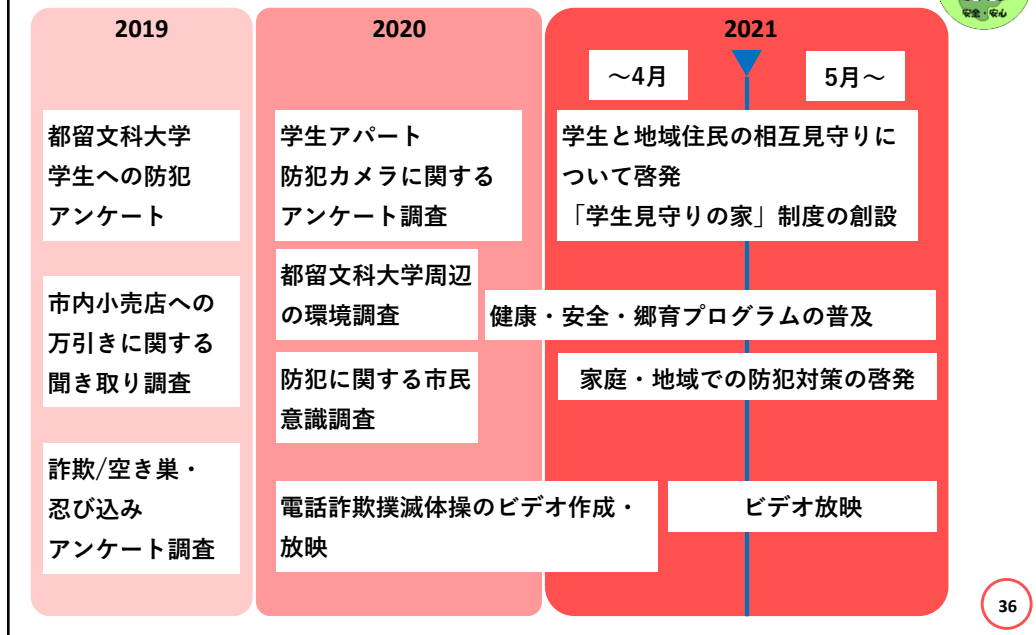
## まとめ：委員会独自の活動と得られた気づき



活動	得られた気づき
都留文科大学 学生への防犯アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の4人に1人が普段から戸締まりをしていない(図表16)</li> <li>・不審者対策を望む学生が多い(図表18)</li> </ul>
市内小売店への万引きに関する聞き取り調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、店舗巡回や防犯カメラの設置、警察との連携等の対策を行っている</li> <li>・未遂も多く、近年は悪質化している傾向がみられる</li> </ul>
産業まつり 空き巣・忍び込みと詐欺に関するアンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の戸締まりをしていない家庭は、家の戸締りをしている家庭よりも空き巣・忍び込み被害にあうリスクが高い(図表15)</li> <li>・詐欺の被害件数は少ないが、被害に繋がるリスクが大きい(図表19)</li> </ul>
学生アパートの防犯カメラに関するアンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生アパートへの防犯カメラの設置率は約20%</li> <li>⇒比較的新しいアパート、新築の建物は特に設置率が高い</li> </ul>
都留文科大学周辺の 夜間環境調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民＝基本的に車移動・夜間出歩かない</li> <li>学生＝基本的に徒歩・夜間出歩くことも</li> <li>⇒環境や生活スタイルの違いから学生の不安感が高い</li> </ul>
防犯に関する市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き巣・忍び込み対策、不審者対策に関する防犯対策を必要だと考える人が多い(図表20)</li> <li>・家庭での防犯カメラは、半数が「今後も設置する予定はない」と回答</li> <li>⇒設置しない理由にプライバシーに関する問題を挙げている意見が見られた</li> </ul>

35

## まとめ：取り組みの進捗状況・今後の展望



36

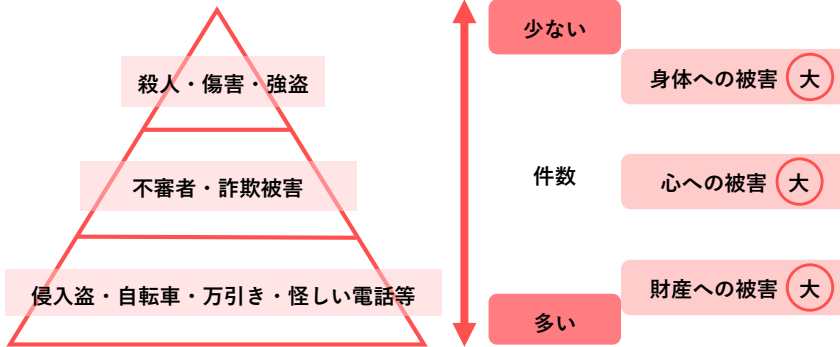
## まとめ：事前指導を踏まえた取り組み



審査員からのアドバイス	対策委員会の取り組み
今進めている取り組みは、人の身体への被害というよりは、所有物への被害を対象にしているように見受けられた。人の身体への被害「セーフティ」に対しては取り組みを考えていないか。	傷害事件等がメンタルヘルスに及ぼす影響を考 え、犯罪統計上にのぼらないDVや虐待、ハラス メントにも視野を広げ、他の委員会とコラボし、 啓発活動を展開していく予定。 (取り組み3のメニューに取り入れる)
健康・安全・郷育プログラムについて、ど のように効果を確認しているか。教育啓発 は定着が大切なので、実施後期間を空けて 追跡調査を行うことや継続的に繰り返し実 施することが大切。	半年後や一年後に継続的に状況を把握できるよ うな追跡調査の実施、講座の定期開催などの 「継続性」を高める方法を検討する。
詐欺被害の予防について、銀行やコンビニ エンスストアなどで振り込みを要求される 場合も多いと思うので、連携を取ってい てほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政では、消費生活相談窓口が銀行やコンビニエンスストアなどと連携を図っている。</li> <li>対策委員会の活動では、電話詐欺撲滅体操の啓発番組を金融機関窓口のモニターで継続的に放映してもらう予定。</li> <li>今後、取り組み3のメニューとして、啓発番組以外にも警察と連携しながら啓発方法を増やしていきたい。</li> </ul>

37

# まとめ：都留市における状況と今後の方向性



- ・窃盗犯等の軽犯罪の発生が多い
- ・犯罪の発生状況と市民の体感治安にギャップがある
- ⇒ 件数の多い犯罪や市民の不安感が高い犯罪への対策
- ⇒ 犯罪の「パイ」を小さくする
- ⇒ 犯罪の減少と市民の体感治安の向上を目指す
- コロナ禍の状況で詐欺被害が増加特に電話詐欺が多発している
- ⇒ 健康体操の切り口から関心のない人にも電話詐欺被害の防止について知ってもらう



ご清聴ありがとうございました!

Safe Community  
防犯対策委員会